

第2期三豊市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）に対する意見及び市回答

	意見	市回答
1	<p><第2期総合戦略の方向性について> 第2期総合戦略の策定にあたり、SDGsの考え方を導入することが重要である。</p> <p>少子高齢化や人口減少によって社会が大きく変わっている中、SDGsにおける17のゴール達成をめざし、官民が一体となるとともに、誰もが大切な役割を担う存在であることから、個人としてもできる範囲で取り組んでいきたい。</p>	<p>ご意見のとおり、将来にわたって持続可能なまちをつくっていくという考え方は、本市における地方創生の要であると考えている。</p> <p>第2期総合戦略における各事業を実施するうえでは、SDGsの考え方を横断的な視点として取り入れ、行政のみならず、市民の皆さんや民間事業者、地域活動に取り組む団体等とともに、誰ひとり取り残さないまちの実現に向けて取り組んでいく。</p>
2	<p><4ページ19行目：本市がめざす地方創生について> 市の臨時職員は、低賃金や休暇制度等の未整備によって、結婚や出産など将来への希望を持ってない状況にある。</p> <p>豊かなまちの実現には、安心かつ安定的な環境での就労が必要であることから、人口減少の克服を第一に掲げる市としても早急に臨時職員の処遇改善を行うべきである。</p>	<p>本市がめざす地方創生の実現にあたっては、多様化するライフスタイルに合わせて働くことができ、暮らしに豊かさをもたらすしごとづくりは欠かすことができない。</p> <p>本市では、令和2年度より「会計年度任用職員制度」の運用が開始され、臨時及び非常勤職員における給与や手当、休暇制度等の見直しが図られることとなっている。</p> <p>就労環境や処遇の改善により、モチベーション向上も期待される場所である。</p> <p>【基本目標4 ひとが「創る」みとよへ】における施策にもあるように、三豊で働くすべての人が生きがいや幸せを感じられる就労環境の整備や、産業の成長を促進していきたいと考えている。</p>
3	<p><4ページ：本市がめざす地方創生について> まちづくりやしごとづくりなど、何をやるにも「ひと=人材（人財）」が重要であると考えている。</p> <p>自分自身もともにまちづくりに取り組んでくれる「ひと」と出会い、そのつながりの中で活動しているが、「点（個々）」での成果はあるものの、「線」・「面」には至っていないことを残念に感じている。</p> <p>「線」や「面」へ広がることで、10倍、100倍の成果を期待している。</p> <p>この戦略をスタートラインに、今後、市民とともにまちづくりを進めてほしい。</p>	<p>三豊市では、これまでも市民やこの地に関わる人の自主的かつ積極的な行動により、暮らしや産業がつくられてきた。</p> <p>昨年度策定した「三豊市第2次総合計画」における将来像「One MITOYO」にもあるように、総力戦でまちづくりに取り組むことでより大きな目標を達成することができるとして、地域や分野、年代などにとらわれず、多様な人材が手を取り合うまちをめざしていきたいと考えている。</p> <p>今後は、本戦略に基づき、市民の皆さんとコミュニケーションを深めながら、ともにまちづくりの当事者として、豊かさを実感できるまちの実現をめざす。</p>